

ピロリ菌抗体検査のご案内

▲ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)とは

胃の粘膜に生息する細菌のことで、日本人の約半数、50歳以上は約70%の人が感染していると言われています。ピロリ菌感染者の胃癌リスクは、未感染者の15倍以上と言われていますが、除菌をすることで胃癌のリスクは低下します。また、感染早期の除菌ほど胃癌予防効果が高いです。

**早期
発見**が重要です

▲ピロリ菌抗体検査について

当院では採血によるピロリ菌検査を行っています。感染している場合、当院外来で除菌出来ます。

除菌法

抗生剤2剤と胃薬1剤の計3剤の薬を
1日2回（朝・夕）×7日間連続で内服し、
内服終了後4週間以上空け
除菌できたか再度検査を行います。



CENTRAL HOSPITAL